

【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』

情報活用能力の育成を目指した学習活動

事例概要

本校では、教科横断的な視点に立った資質・能力の1つとして、GIGA端末を用いて情報活用能力の育成を目指した学習活動を行っている。情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑める生徒の育成を目指す。

国語科での活動

右の資料は国語科の物語教材の分析に取り組んだ生徒のジャムボードである。生徒Aは主人公の気持ちを場面の変化に対応させながら情報を整理している。生徒Bは中心的な登場人物の心情を表としてまとめている。このように、生徒によってどのように情報を収集し、整理・分析するかは違う。生徒に合った思考の仕方や考え方を行うことで個別最適な学びへと繋がっていくと考える。さらに、各自まとめた内容をクラスメイトに説明する活動を行い、それぞれの思考の仕方や考え方を共有することでより多面的で多角的な思考へ発展すると考える。

